



## 2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月11日

上場取引所 東

上場会社名 カネ美食品株式会社

コード番号 2669 URL <https://www.kanemi-foods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺山 雅也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 大谷 浩一郎 TEL 052-879-6111

四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第3四半期の業績（2023年3月1日～2023年11月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	64,498	7.3	2,420	31.0	2,463	29.8	1,568	26.3
2023年2月期第3四半期	60,089	4.2	1,846	43.9	1,897	39.8	1,241	26.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	162.09	ー
2023年2月期第3四半期	128.31	ー

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第3四半期	35,699	27,183	76.1	2,809.68
2023年2月期	33,406	25,912	77.6	2,678.74

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 27,183百万円 2023年2月期 25,912百万円

(注) 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2023年2月期第3四半期 5,418株、2024年2月期第3四半期 3,629株）に、1株当たり純資産金額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式（2023年2月期 4,803株、2024年2月期第3四半期 2,799株）にそれぞれ含めております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	ー	14.00	ー	22.00	36.00
2024年2月期	ー	19.00	ー	ー	ー
2024年2月期(予想)	ー	ー	ー	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年2月期の業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,600	4.3	2,750	2.3	2,800	2.0	1,800	4.6	186.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	10,000,000株	2023年2月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	324,973株	2023年2月期	326,765株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	9,674,292株	2023年2月期3Q	9,672,626株

（注）株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2023年2月期3Q 5,418株、2024年2月期3Q 3,629株）に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経営環境の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. 主要な経営指標等の推移 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復等により、景気の持ち直しの動きが見受けられました。一方で、地政学リスクや円安等によるエネルギー価格の高騰等による物価上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、原材料費や物流費の上昇を商品価格に転嫁する動きがみられたことによる消費マインドの停滞や、さらなる人件費や採用コストの上昇等により、引き続き厳しい環境となりました。

このような中、当社は3月に締結した株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（以下、PPIH）との業務提携を軸とした事業拡大の推進及び経営基盤の強化により企業価値向上を図ってまいりました。

報告セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

#### ① テナント事業

テナント事業においては、当第3四半期中に関西エリアに「Re'z deli（リーズデリ）」1店舗を新規出店するとともに店舗改装を実施いたしました。一方既存店舗では全体の底上げを図るべく、主軸となるコア商品の商品力向上に努め、集中販売及び販促強化を推し進めることにより、売上高の増加と店舗運営の効率化の両立に取り組んでまいりました。

これらの結果、テナント事業全体の売上高は前年同期間に比べ2.5%増収の319億24百万円となりました。一方利益面においては、将来を見据えたブランド力・商品力の強化を図るため、積極的な販売施策などを通じて戦略的に必要な支出を行ったことや当第3四半期累計期間における新規出店（11店舗）に係る初期費用の増加等により、セグメント利益は前年同期間に比べ1.6%減益の12億75百万円となりました。

#### ② 外販事業

外販事業においては、引き続き人流回復を背景にファミリーマート店舗では持ち運びしやすいおむすびや調理パン、チルド惣菜シリーズ「ちょいデリ」の納品が好調に推移しました。

2023年11月からは「みんなの75点より、誰かの120点。」をコンセプトに、PPIHが展開する弁当・惣菜の新ブランド「偏愛めし」の製造・納品を開始し、確実に納品量拡大を図ってまいりました。

これらの結果、外販事業の売上高は前年同期間に比べ12.4%増収の325億73百万円となり、利益面では売上高の増加に加え、工場運営における継続的な改善活動が着実に成果となり、セグメント利益は前年同期間に比べ108.4%増益の11億44百万円となりました。

以上の要因により、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期間と比べ7.3%増収の644億98百万円となりました。経常利益については前年同期間と比べ29.8%増益の24億63百万円、四半期純利益については前年同期間と比べ26.3%増益の15億68百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ22億93百万円増加して356億99百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が8億40百万円、売掛金が10億11百万円それぞれ増加したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ10億22百万円増加して85億15百万円となりました。

この主な要因は、買掛金が4億58百万円、未払金2億75百万円、賞与引当金が2億81百万円それぞれ増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ12億71百万円増加して271億83百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が11億71百万円増加したことと、その他有価証券評価差額金の差益が94百万円増加したことなどによります。

これらにより当第3四半期会計期間末の自己資本比率は、前事業年度末の77.6%から76.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,956,868	17,797,335
売掛金	5,221,998	6,233,618
製品	8,943	10,477
仕掛品	19,975	20,962
原材料及び貯蔵品	429,826	471,322
前払費用	70,815	109,331
未収入金	58,032	25,340
テナント預け金	108,269	141,386
その他	13,246	8,367
流動資産合計	22,887,977	24,818,142
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,824,071	3,799,311
構築物（純額）	229,589	209,662
機械及び装置（純額）	1,528,836	1,543,113
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	304,396	541,432
土地	2,887,081	2,887,081
リース資産（純額）	138,954	123,532
建設仮勘定	6,500	—
有形固定資産合計	8,919,430	9,104,133
無形固定資産		
ソフトウェア	137,980	104,792
ソフトウェア仮勘定	—	330
無形固定資産合計	137,980	105,122
投資その他の資産		
投資有価証券	432,773	554,740
出資金	2,030	2,030
長期前払費用	173,866	146,174
前払年金費用	317,039	427,042
繰延税金資産	205,838	205,009
差入保証金	325,063	333,294
会員権	4,050	4,050
投資その他の資産合計	1,460,662	1,672,341
固定資産合計	10,518,072	10,881,597
資産合計	33,406,050	35,699,740

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,998,387	3,456,929
未払金	1,233,866	1,509,708
未払費用	1,277,713	1,439,076
未払法人税等	621,400	499,000
未払消費税等	279,232	261,442
賞与引当金	640,100	921,700
役員賞与引当金	23,900	16,200
役員株式給付引当金	5,800	4,900
資産除去債務	28,160	—
その他	56,358	58,285
流動負債合計	7,164,918	8,167,242
固定負債		
リース債務	12,430	10,192
長期未払金	1,557	1,019
資産除去債務	309,904	332,325
長期預り保証金	5,028	5,028
その他	123	158
固定負債合計	329,042	348,723
負債合計	7,493,961	8,515,966
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,002,262	2,002,262
資本剰余金		
資本準備金	2,174,336	2,174,336
その他資本剰余金	3,731	3,731
資本剰余金合計	2,178,068	2,178,068
利益剰余金		
利益準備金	81,045	81,045
その他利益剰余金		
別途積立金	10,300,000	10,300,000
繰越利益剰余金	12,147,689	13,318,952
利益剰余金合計	22,528,735	23,699,997
自己株式	△1,007,765	△1,001,438
株主資本合計	25,701,300	26,878,890
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	210,788	304,883
評価・換算差額等合計	210,788	304,883
純資産合計	25,912,088	27,183,773
負債純資産合計	33,406,050	35,699,740

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	60,089,861	64,498,431
売上原価	50,215,683	53,305,487
売上総利益	9,874,178	11,192,943
販売費及び一般管理費	8,027,839	8,772,462
営業利益	1,846,338	2,420,480
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	18,630	16,132
不動産賃貸料	4,960	4,289
受取保険金	2,492	4,985
助成金収入	15,060	—
雑収入	—	10,000
その他	13,491	12,509
営業外収益合計	54,648	47,931
営業外費用		
不動産賃貸原価	564	576
雑損失	2,506	3,343
その他	679	614
営業外費用合計	3,750	4,534
経常利益	1,897,236	2,463,877
特別利益		
投資有価証券売却益	19,519	—
特別利益合計	19,519	—
特別損失		
固定資産売却損	29,333	—
固定資産除却損	4,732	59,852
減損損失	37,918	27,650
特別損失合計	71,984	87,503
税引前四半期純利益	1,844,771	2,376,374
法人税、住民税及び事業税	672,330	835,357
法人税等調整額	△68,637	△27,042
法人税等合計	603,692	808,315
四半期純利益	1,241,079	1,568,058



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2022年3月1日至2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額(注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	31,134,943	28,954,918	60,089,861	—	60,089,861
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	31,134,943	28,954,918	60,089,861	—	60,089,861
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	391,981	391,981	△391,981	—
計	31,134,943	29,346,899	60,481,843	△391,981	60,089,861
セグメント利益	1,297,390	549,132	1,846,522	△184	1,846,338

(注) 1. セグメント利益の調整額△184千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「テナント事業」において店舗資産等、「外販事業」において工場資産をそれぞれ減損しております。

なお、当第3四半期累計期間における当該減損損失の計上額は「テナント事業」で24,123千円、「外販事業」で13,795千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期累計期間(自2023年3月1日至2023年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額(注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	31,924,991	32,573,439	64,498,431	—	64,498,431
その他の収益					
外部顧客への売上高	31,924,991	32,573,439	64,498,431	—	64,498,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,686,420	2,686,420	△2,686,420	—
計	31,924,991	35,259,859	67,184,851	△2,686,420	64,498,431
セグメント利益	1,275,636	1,144,786	2,420,423	57	2,420,480

(注) 1. セグメント利益の調整額57千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前事業年度において「テナント事業」に含めていた袋井ファクトリーを第1四半期会計期間から「外販事業」に移管しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「テナント事業」において店舗資産等、「外販事業」において工場資産をそれぞれ減損しております。

なお、当第3四半期累計期間における当該減損損失の計上額は「テナント事業」で13,228千円、「外販事業」で14,422千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 主要な経営指標等の推移

回次	第53期 第3四半期 累計期間	第54期 第3四半期 累計期間	第53期
会計期間	自 2022年3月1日 至 2022年11月30日	自 2023年3月1日 至 2023年11月30日	自 2022年3月1日 至 2023年2月28日
売上高 (千円)	60,089,861	64,498,431	81,059,326
経常利益 (千円)	1,897,236	2,463,877	2,742,889
四半期(当期)純利益 (千円)	1,241,079	1,568,058	1,720,389
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—	—
資本金 (千円)	2,002,262	2,002,262	2,002,262
発行済株式総数 (株)	10,000,000	10,000,000	10,000,000
純資産額 (千円)	25,428,339	27,183,773	25,912,088
総資産額 (千円)	33,615,822	35,699,740	33,406,050
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	128.31	162.09	177.86
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
1株当たり配当額 (円)	14.00	19.00	36.00
自己資本比率 (%)	75.6	76.1	77.6

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期(当期)純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。